

はじめに



今回策定した千葉市地域経済活性化戦略は、今後10年間の千葉市の地域経済活性化の方向性を示すとともに、多くの企業や市民の方々へのアンケートやヒアリング調査、経済団体や支援機関などとの意見交換を通して、幅広い意見を伺い、中小企業をはじめとする地域経済を支える皆様が安心して自らの事業活動に専念できるよう、真に必要とされる支援を取りまとめたものです。

我が国の経済は、サブプライムローン問題、リーマンショックから引き続く長期の景気低迷や東日本大震災により非常に大きな打撃をこうむりました。急速なグローバル化やICT化の進展、ライフスタイルの変化や少子超高齢化による消費者ニーズの多様化など、経済を取り巻く環境も大きく変化をしており、特に本市経済を支える中小企業は日々非常に難しい経営判断を迫られています。

また、地域商業においては、人々のライフスタイルが多様化し、消費意欲の対象や消費行動が変化し、先見性の高い事業者は、率先して農商工連携や商学連携、地域住民との連携など取組みを始めており、新たな商業支援の枠組みが必要となってきました。

本戦略では、厳しい経営環境に置かれている事業者を支援するとともに、本市の優位性や独自性を活かした産業の育成を目指し、本市経済の活性化を図るため、「企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ千葉市の実現」を狙いとしています。

「新事業・新産業の創出」、「経営革新と産業人材の育成」、「地域商業・サービス産業の振興」という3つの基本戦略を柱に、企業のステージに合った各種支援施策に取り組むことで既存産業を支えるとともに、新たなビジネスチャンスを取り込むため、ベンチャー企業創出と企業誘致に力を入れ、市内の事業所数の増加を図ってまいります。

また、商業振興も含めた一体的な戦略とすることで、独自の取組みを行う事業者や事業者同士の連携、異業種との連携などの取組みへの支援を強化してまいります。

これらの取組みにより、将来の千葉市が、「元気な企業が育つ千葉市」、「起業するなら千葉市」、「社長の輩出数日本一」など日本の経済を牽引するような産業都市になることを目指します。

結びに本戦略の策定にあたり、非常に多くの皆様にご助力、ご支援をいただきましたことを、厚くお礼申し上げます。

千葉市長 熊谷 俊人